

課題名	肝細胞癌患者におけるレンバチニブ長期内服に寄与する因子の検討
承認番号	2020-40 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 消化器内科 氏名 原 英展
研究期間	(西暦) 2021 年 4 月 ~ (西暦) 2021 年 10 月
研究の意義・目的	肝臓がんにおいて現在多くの抗がん剤が適応となっています。今回調査するレンバチニブは、現在多くの患者さんで使用されていますが、長期内服可能な患者さんはどのような特徴があるかは現在不透明であり、あらかじめ長期効果を見込める因子を推定できるか検討します。長期の内服とは下記に記載してる無増悪生存期間を示します。
研究の方法 (対象期間含む)	観察期間内(2018 年 4 月から 2020 年 10 月まで)に肝細胞癌に対してレンバチニブを投与した患者さんに対して、採血データ(ヘモグロビン (Hb), クレアチニン (Cre), 尿素窒素 (BUN), 白血球数 (WBC), 血小板数 (Plt), プロトロンビン時間 (PT), 総ビリルビン (T-Bil), アルブミン (Alb), 腫瘍マーカー)、内服期間、死亡日時、年齢、性別、画像検査を用いて検討を行います。 長期の無増悪生存期間(抗がん剤内服により癌をコントロールできる期間)に関連性のある因子の抽出および検討を行う。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	対象症例のカルテから以下のデータを抽出し、検定を行います。データは本研究の目的のみに使用し、個人が特定できない形とします。具体的には、対応表を用いてデータ管理を行い、使用するデータのみでは個人の ID などが分からない状態とします。
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢、性別、内服期間、死亡日時、採血データ、CT 画像を用いて比較検討を行います。
試料・情報を 利用する者の範囲	消化器内科 原 英展のみ
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	消化器内科 原 英展
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 消化器内科 氏名 原 英展 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101